東光寺だより 25

新しい仲間が増えます♪

既に当山の看板犬として責務を果たしているそうちゃんに続いてもう一匹ワンコがやってくる事が決定しました。ゴールデンレトリバーのプリンちゃんです。かつてはそうちゃんとザイショで一緒に過ごしていた事も有り、相性は抜群間違いなし。先日はプリンちゃんに面会も行って様子を見てまいりました。昔の仲間との邂逅にそうちゃんは大喜びでした。ですが、すぐに迎え入れる訳にはいかず、受け入れの準備に追われる当山でした。

前住職の作品♪

水彩画の醍醐味は河の有る風景が一番マッチするのかと思う今日この頃。それに加えて揖斐の峰々。もう何十年も変わらない風景ですが、都会の人たちから見ると新鮮に映るのでしょうか。揖斐に限らず盆等で帰郷された人たちには心の洗濯になったものと推察します

新命さん　新命さん

8月も終わりのとある日に17回忌のお参りに伺いました。先日お盆のお参りに伺ったばかりですが…こうやって2回お顔拝する事が出来て素直に難有い事だと思わずにいられません。そう言えば当家は未だに新命さん新命さん(若さん)って呼ぶのが自然過ぎていや～それよりも17回忌無事にお勤め出来てホッと酷暑の中、当家を後にしたのでありました♫

啐啄同機／そったくどうきという禅語が有ります。「啐啄」とは、雛が卵からかえろうとするときに、幼いくちばしで卵の内側からコツコツと突いたとき、耳を澄ませていた母鳥がその瞬間、それに応えて同じころを外からくちばしで殻を突き割って出してやることで、この内側から雛が突くことを「啐」と言い

母鳥が外からつつくことを「啄」と言います。「新命さん新命さん」と当家が言えば、和尚の笑った顔が浮かびます。これが当家と和尚の啐啄同機。そこには空洞感はありません。とってもすばらしい当家と和尚の姿だけです。

結論

たまには新命さんもイイもんだ♪

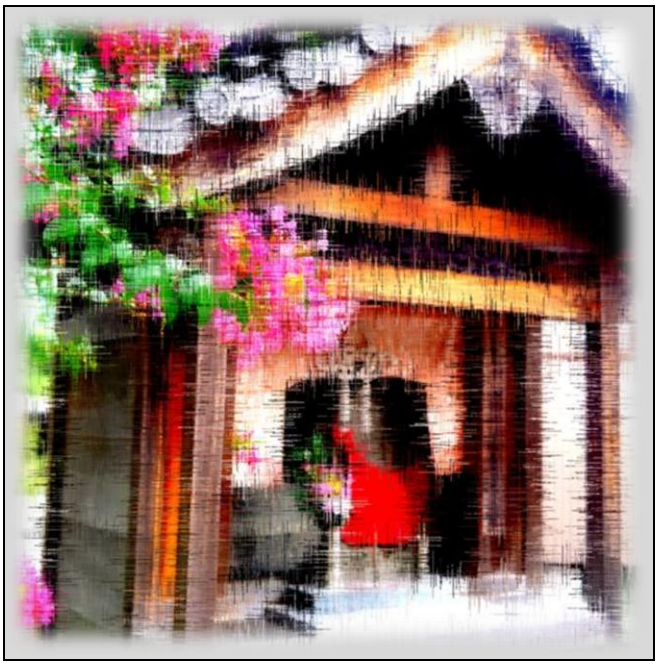
衣を新調しました♪

この夏は例年になく故人を見送る事が多く並びに施餓鬼等で導師をする事も増えてまいりました。故に一つ衣を新調しました。故人の思いも、そこに反映出来るように精進してまいりたいと・・故人が見る事の叶わなかった未来とこれから小生が見る未来がこの衣をまとう事によって少しでも近づけれるように。

当山寺庭の己書道場♪

月１で信者さんの喫茶店にて書を教えております。生徒さんたちは熱心でｾﾝせ一次これ習いたいとリクエストが有るそうなんで、張り合いが有ってイイ感じですね。

酷暑の中秋桜が咲きました♪



文責　“東光寺”英隆